

みなさんと議会を結ぶ……議会だより



題字：東台福浦小学校 1 年（現在 2 年）
かとう はづき 加藤葉月さん



令和 6 年 9 月

No.131

編集/発行 湯河原町議会

〒259-0392

神奈川県足柄下郡湯河原町中央二丁目2番地1
TEL0465-63-2111(代) FAX0465-63-9674



湯河原
夏の一大イベント

やっさまつり



6月
定例会

6/6～6/17

7月
臨時会

7/17

町議会ホームページ



● 主な内容 ●

- 6月定例会・・・・・・・・・・2～3
- 忠州市・三原市訪問・・・・・・・・4
- 一般質問・・・・・・・・・・5～7
- 常任委員会・特別委員会・・7～9
- 7月臨時会・・・・・・・・・・10
- 代表質問・・・・・・・・・・10～11
- 傍聴のご案内(9月議会日程)・・12

湯河原町議会のホームページ <https://www.town.yugawara.kanagawa.jp/site/yugawara-gikai/>

湯河原町議会 検索

湯河原町議会のE-mail gikai@town.yugawara.kanagawa.jp

6月定例会

令和6年第3回湯河原町議会6月定例会は、6月6日から6月17日までの12日間（本会議開催3日間）にわたり開催されました。

この定例会では、町側から、専決処分の承認、条例、補正予算、損害賠償の額の決定、動産の取得、人事などの議案9件、報告4件、合計13件を審議しました。

町議会HP
会議録



審議議案と結果

全会一致の議案

議案番号	議 案 名	結果	議決日
37	専決処分の承認について（令和6年度湯河原町一般会計補正予算（第2号））	承認	6/7
38	湯河原町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	6/7
39	湯河原町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	6/7
40	湯河原町下水道条例の一部改正について	可決	6/7
42	損害賠償の額の決定について	可決	6/7
43	動産の取得について（消防ポンプ自動車の購入）	可決	6/17
44	湯河原町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	6/17
45	湯河原町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	6/17

賛否が分かれた議案の概要と議員ごとの賛否内容

○は賛成、×は反対を表しています。

議員名	貴田太史	笠原進	早乙女智子	土屋由希子	熊谷照男	渡辺久子	松野洋一	石井温	善本真人	松井一寿	室伏寿美夫	山本俊明	土屋誠一	結果	議決日
議案番号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
41	令和6年度湯河原町一般会計補正予算（第3号） 補正額は、3億2,520万4千の増額で、歳入の主な内容は、デジタル田園都市国家構想交付金の交付決定による増額、国の施策による物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金及び新型コロナウイルスワクチン接種費用補助金などに伴う、国庫支出金の増額、財源調整のための財政調整基金繰入金の増額などです。 歳出の主な内容は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を財源とした定額減税補正給付金及び低所得世帯支援事業の増額、デジタル田園都市国家構想交付金を活用した公共施設利便性向上事業及び保育業務支援システム導入事業の増額、新型コロナウイルスワクチンの令和6年度秋冬接種に向けた予防接種事業の増額などです。													可決 賛成：12 反対：1	6/7

専決処分の承認

●令和6年度湯河原町一般会計補正予算（第2号）※議案第37号

町長の逝去により、公職選挙法の規定に基づき町長選挙を執行するに当たり、予算に補正を要するため、地方自治法第179条第1項の規定により、令和6年度湯河原町一般会計補正予算（第2号）を専決処分した報告を受け、承認しました。

人 事

●湯河原町固定資産評価審査委員会委員の選任について※議案第44・45号

固定資産評価審査委員会委員の^{かしわざい こうじ}柏木晃二氏及び^{たかすぎ たけし}高杉武氏^{しんかい く に みつ}両氏の任期が令和6年6月24日で満了となるため、引き続き柏木晃二氏と新たに^{しんかい く に みつ}慎改邦光氏を固定資産評価審査委員会委員に選任することに同意しました。任期は令和6年6月25日から令和9年6月24日までの3年間です。

議決補正予算

一般会計（第3号）

3億2,520万4千円の増額

歳入

- ・デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）（デジタル実装タイプ）の増額
- ・社会資本整備総合交付金の増額
- ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増額
- ・子ども・子育て支援事業費補助金の増額
- ・新型コロナウイルスワクチン接種費用補助金の増額
- ・まちづくり基金繰入金の増額 など

歳出

- ・定額減税補足給付金（調整給付）の増額
- ・低所得世帯支援事業の増額
- ・国内外親善交流推進事業の増額
- ・公共施設利便性向上事業の増額
- ・保育業務支援システム導入事業の増額
- ・予防接種事業の増額 など

一般会計補正予算の主な質疑

- ・一般コミュニティ助成事業（助成金の算定方法について）
- ・議会運営経費（賠償金の内容について）
- ・区会助成事業（助成内容について）
- ・公共施設利便性向上事業（スマートロックの設置施設・運用方法について）
- ・鍛冶屋会館整備事業（委託業者の契約方法について）
- ・保育園運営経費（栄養士業務委託料の経緯）
- ・保育業務支援システム導入事業（事業内容、システム利用料について）
- ・理科教育設備整備等事業（整備先、整備物品の内容について）



条例の改正

●湯河原町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例（一部改正）※議案第38号

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、職員の配置基準が見直されたため、条例の一部を改正しました。

●湯河原町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例（一部改正）※議案第39号

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い、文言の整理をするため、条例の一部を改正しました。

●湯河原町下水道条例（一部改正）※議案第40号

下水道排水設備責任技術者の常駐・専任規定の見直しを行うほか、下水道法施行令の一部改正に伴い、条例の一部を改正しました。

動産の取得

●消防ポンプ自動車の購入※議案第43号

消防団第8分団（川堀）に配備している消防ポンプ自動車を更新するにあたり、購入契約を締結する議決をしました。（購入金額 2,398万円）

報告

●令和5年度湯河原町一般会計繰越明許費繰越の報告について

低所得世帯支援事業をはじめ、全18事業について、繰越明許費に係る予算の経費3億4,131万9,200円を令和6年度に繰り越したことについて、地方自治法施行令第146条第2項の規定により報告を受けました。

●令和5年度湯河原町下水道事業会計予算繰越の報告について

耐震診断業務委託について、予算の経費4,812万5千円を繰り越したことについて、地方公営企業法第26条第3項の規定により、報告を受けました。

●専決処分（湯河原町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例及び湯河原町地域包括支援センターの職員等に関する基準を定める条例の一部改正について）

●専決処分（事故賠償）

大韓民国・忠州市姉妹都市提携30周年記念式典 参加

忠州市と湯河原町は、両市町が両国内の代表的温泉地という共通点と、以前から民間レベルでの交流が続いていたことから、日韓の親善促進にも寄与するために平成6年11月28日に姉妹都市提携し、今年で提携30周年となりました。

姉妹都市提携30周年を記念し、忠州市からの招へいにより、5月29日(水)～6月1日(土)に村瀬公大議長、室伏寿美夫総務文教・福祉常任委員長、石井温環境・観光産業常任委員長、松井一寿議会運営委員長が忠州市へ訪問しました。表敬訪問、忠州市を代表するお祭り「ダイブフェスタ」への出席のほか、30周年記念植樹として、忠州市内にある「水安堡幸福ナナム庭園」に松の木を植樹し、忠州市との友好関係を深め、文化に触れました。また、村瀬議長には、忠州市名誉市民証が贈呈されました。

さらに、8月2日(金)～3日(土)の湯河原やっさまつりに合わせて、忠州市長をはじめとする訪問団が湯河原町を訪れ、30周年記念植樹として、役場敷地内に韓国の国花であるムクゲの木を植樹しました。



忠州市での記念植樹



記念植樹出席者

村瀬公大 議長

忠州博物館や記念塔を拝見することで、歴史や文化、伝統に触れることができ、忠州の魅力を感じることができました。

また、『ダイブフェスタ』を観賞し、忠州市民の活力に驚かされました。

室伏寿美夫 総務文教・福祉常任委員長

近年開発されたニューシティの状況や忠州市の経済状況を伺うなど、日韓、両市町が置かれている状況や課題を共有しながら、民間も含め引き続き交流を深めていくことを確認し合う、素晴らしい時間となりました。

石井温 環境・観光産業常任委員長

2回目の訪韓となりましたが、韓国の社会基盤インフラが著しい発展を遂げていることには隔世の感を覚えたところです。特に、デジタルインフラについては日本以上に浸透していると感じました。

松井一寿 議会運営委員長

市内各所をご案内いただき、忠州市の歴史をご説明いただきました。ポート場では現地で撮影された作品の案内板が設置されており、ロケツーリズムを推進する本町においても同様のPRを行うってはどうかと感じました。



忠州市名誉市民証贈呈



湯河原町での記念植樹

三原やっさ祭り開幕式 参加

8月9日(金)に広島県三原市へ訪問し、第49回三原やっさ祭り開幕式へ村瀬公大議長、石井 温環境・観光産業常任委員長が出席しました。

三原市と湯河原町は、土肥寛平とその子孫である小早川氏のゆかりの都市であり、また「やっさ踊り」を通じて両市町民の間に親睦の輪が広がったことから、昭和51年8月7日に親善都市の提携をし、互いの市町で開催のやっさまつりに小学生が参加するなど交流を深めています。



開幕式の様子

一般質問

皆さんの声を議会へ!



町議会HP
会議録

一般質問とは、議員が本会議で、議長の許可を得て質問することです。

その内容は、町政全般（一般事務、事業の執行状況、将来に対する方向性など）について、町長など執行機関の考え・方針を議員個人として質問することができます。質問内容は、あらかじめ議長に通告しなければなりません。

また、一般質問の時間は、答弁を含み、一人50分です。

※紙面の都合により、要約した原稿を質問した各議員が作成し、掲載しています。

議会映像のインターネット配信

【視聴方法】

- ・インターネット検索サイトから「湯河原町議会 YouTube」で検索
- ・町議会ホームページのリンクから
- ・QRコード利用



①期日前投票所の対応及び投票結果の広報について ②駅前の施設及び環境整備・植栽等について

質問通告1

熊谷 照 男 議 員



①期日前投票所の対応及び投票結果の広報について

Q 身障者や車椅子を利用する方の対応を考え、第一庁舎のロビーから第二庁舎への通路を活用した、期日前投票所は設置できませんか。

A 選挙以外での来庁者にご不便をかけ、公職選挙法において、投票所へ入場できる者の範囲が定められているため、考えておりません。

Q 期日前投票所を他の場所で実施する考えはありませんか。

A 期日前投票所を利用される方も増加傾向にあり、期日前投票所に対する意見が数多く寄せられるようであれば検討していきたいと考えます。

Q 車椅子の出し入れで住民の方が困っていても職員が声をかけなかった。副町長、自分から行動するように出来ないのでしょうか。

A 常々職員の方に伝えておりますが、そういった事例があり、申し訳なかったです。

②駅前の施設及び環境整備・植栽等について

Q 多額の税金が使われて駅前を整備されましたが、本当に有効だったのでしょうか。

A 平成29年、インバウンド等のお客様も増えるであろうと、当時非常に注目し、広報等もさせていただきました。

Q 駅前広場は賑わっていますか。観光で来た方もすぐ帰ってしまいます。駅を降りて、小さな販売所等工夫されないのでしょうか。

A 催し物、地場産品の出品等を実施させていただいているところです。

Q 案内板の近くに鳩のフンがあり汚れています。お客様が滞留してくれるかは対応次第です。どう考えますか。

A 管理が不十分というのは、大いに反省すべき点であり、そういったことはお客様に迷惑をかけないような対応を今後もしていきます。

①就学援助金について ②こごめの湯の運営について

質問通告2

渡辺久子議員



①就学援助金について

Q直近5年間の就学援助金交付人数、および全児童生徒数に対する割合をお聞かせください。

A令和2年度141人、10.7%。令和3年度141人、11.3%。令和4年度121人、10.2%。令和5年度132人、11.7%。令和6年度は現在書類審査中のため回答できません。

Q申請した方のうち交付対象外となった主たる理由をお聞かせください。

A収入額もしくは収入額増加による基準超過です。

Q「就学援助制度のお知らせ」の中に「同一生計世帯の収入書類について」という項目がありますが、交付決定に際し、同居する同一世帯以外の方の収入も「収入として加算される」という理解で良いですか。

A住民登録上の同一世帯の有無に関わらず、経済

的に同一であるとみなされる場合は、世帯収入に加算されます。

Q交付者の決定については「民生・児童委員が家庭状況を確認する」となっていますが、毎年の申請時に実施していますか。

A新規申請者のみ実施していますが、現在見直す方向で検討しております。

②こごめの湯の運営について

Qこごめの湯に行くためにマイクロバス等の対応はできませんか。

A過去の実証実験からマイクロバス等の対応は難しい。代替案の1つとして、予約型乗合い交通「ゆたぼん号」の利用方法を周知するなどの検討をしております。

※「こごめの湯」の利用促進については、環境・観光産業常任委員会の議題になりました。詳しくは、8ページをご覧ください。

①産みやすい町づくりについて ②学校での子どもの人権について ③広報ゆがわらの配布方法等について

質問通告3

早乙女智子議員



①産みやすい町づくりについて

Q湯河原町は、消滅可能性自治体として認定されています。国主導の少子化対策ではなく、町独自の産み育てやすい町づくりの一つとして、妊娠出産関連費用の無償化は考えていますか。

A湯河原町では、神奈川県平均よりは妊婦検診費用が手厚くなっています。仮に、妊婦検診費用の無償化を行うとしたら約920万円かかります。国の動向としては、正常分娩での出産費用に令和8年度から公的医療保険を適用し、自己負担を求めない方向で検討に入っています。町としてもきめ細やかな対応をすべきと考えております。

②学校での子どもの人権について

Q全国の学校健診の現場で、脱衣を求められてトラウマになる子どもや医師による性被害が起っています。湯河原町の現状について小中学校にアンケートを実施しました。羞恥心や健診時の二

ズには配慮されていましたが、健診の説明と同意については学校による差がありました。現状認識をお伺いします。

A教育委員会ではトラウマになったケースや性被害の事例はありません。児童生徒が安全で安心して学校生活が送れるように配慮し対応しています。

③広報ゆがわらの配布方法等について

Q町民に必要な情報を公費で作成して配布している町の広報誌が新聞折込と配架に限られており、町民に公平とは言えないではありませんか。

A神奈川県人口統計調査のデータをもとに発行部数を1万1千部と決めており、約8千部を新聞折込で配布するほか、役場本庁舎、防災コミュニティセンター、町立図書館、駅前観光案内所などの町の施設や郵便局、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ドラッグストア、金融機関等に配架しております。

① 少子化対策について ② 町役場の職場環境について
③ 観光立町としての湯河原町について
④ 情報公開と情報発信について



質問通告 4

土屋由希子議員

① 少子化対策について

Q「助産院プロジェクト」は湯河原町が協力的でなかったことが原因で誘致場所を真鶴町に変更した。副町長が面会を断られた理由は。

A 富田町長のご意思もあり、そのレベルに達していないということで、直接の面談は控えた。

同じく、真鶴町の町長に面会を申し込んだところ、快く受け入れてくれた。自治体間の差が出てしまい、助産院を誘致できなかったのは湯河原町としての損失になった。

② 町役場の職場環境について

Qタイムカードではなく人事管理システムなどの導入をするべきだと思いが見解は。

A 事務負担の軽減などの観点から、勤怠管理のシステム化は必要。引き続き調査し、導入に向けた検討をしてまいりたい。

Q全国初でフレックス制を導入した寝屋川市のよ

うなフレックス制の導入を検討してはどうか。

A 町民対応がかなり多く、現場に赴くというような作業が多数あるため、湯河原町にフレックス制でしっくり来るものがない。今後も研究する。多様な働き方ができる体制を整え、募集人数や優秀な人材を確保していくことが重要と考える。

④ 情報公開と情報発信について

Q湯河原町で選挙の際に作成する選挙公報だが、有権者に十分行き届いていない。全戸配布はできないか。

A 現状、選挙期間内にポスティングができる業者が見当たらないが、できるところがあれば費用面の問題もあるが、全戸配布をすることは可能。

選挙に関わるお知らせは不公平感なく配付されるのがベスト。全戸配布が好ましいのが共通認識。

●その他の質問

③ 観光立町としての湯河原町について

常任委員会・特別委員会

※紙面の都合により、一部抜粋して掲載しています。

総務文教・福祉常任委員会

(6月14日開催)

<主な報告事項>

●低所得者支援及び定額減税補足給付金について

国が実施する低所得者支援及び定額減税補足給付金の施策についての概要と町の対応について説明を受けました。

委員からは「減額される分の国からの補填について」、「対象者の人数について」、「補填額（地方特例交付金）の歳入時期について」、「国からの補填時期までの町としてのキャッシュフローについて」などの質問や意見がありました。

●JICA草の根技術協力事業について

当該事業の進捗状況及び令和5年度の事業実績、令和6年度の事業計画についての説明を受けました。

委員からは「町職員の事業への関わり方について」、「町財政の収支・負担について」などの質問がありました。

●地域公共交通について

予約型乗合い交通「ゆたぼん号」の令和5年度運行実績について、令和5年度コミュニティバス運行実績について、令和6年度バス路線の退出等意向申出についての説明を受けました。

委員からは「鍛冶屋・福浦地域の利用が増え、特に鍛冶屋方面はまだ増える可能性はあることについて」、「コミュニティバスの混雑状況について」、「退出意向の2路線に関して」、「ゆたぼん号の鍛冶屋方面の乗車率の低さについて」、「バス会社の運転手の再雇用の考え方について」、「コミュニティバスの現状と今後の展望について」などの質問や意見がありました。

●令和6年度防災に係る訓練について

町内で実施予定の各種訓練内容の説明を受け、湯河原町総合防災訓練が近年の酷暑化を考慮し、9月最終週の日曜へ変更となることの報告を受けました。



●今後の町立幼稚園及び小・中学校のあり方（原案）について

現状及び将来における児童・生徒数の推移、湯河原町がめざす教育について、幼稚園・小学校の適正規模・適正配置についてなどの説明を受けました。

委員からは「適正規模と適正配置の考え方について」、「学級編成における教職員の配置について」、「国が示す適正規模を下回った場合の対応について」、「教育内容の充実について」、「議会における特別委員会の設置について」などの質問や意見がありました。

●中学校給食について

これまで（近年）の経緯について、県との協議中の事項について、今後のスケジュール（案）についての説明を受けました。

●親善都市子ども交流推進事業（ポースティーンズ市）について

新型コロナウイルス感染症の影響により令和2～5年度の4年間、事業を中止していたことについて、今までの主な事業内容について、今後の交流方法についてなどの説明を受けました。

委員からは「町としての受入状況について」などの質問がありました。

<その他の報告事項>

●令和5年度町税等収入状況について

●令和6年度敬老行事について

●国民健康保険事業について

●令和6年度新型コロナワクチン秋・冬接種について

●児童手当の拡充について

●第3期湯河原町子ども・子育て支援事業計画の策定について

●令和5年度人権教育に係る年間計画の取組状況について

●令和5年度社会教育事業の実施状況について

環境・観光産業常任委員会

（6月11日開催）

<案件>

●町営日帰り温泉「こごめの湯」利用促進について

1 ロッカー使用料の無料化について

利用者アンケート等でもこごめの湯のロッカー無料化についてのご意見が多数あったことなどを含めて、今後の課題などの説明や指定管理者との協議を進めていくとの説明がありました。

こごめの湯の設置目的は、湯河原町こごめの湯条例において「住民福祉の増進と観光の振興をめざすため、温泉保養を通じた健康づくりを推進し、相互の理解と、親しみのあるふれあいが生まれる温泉入浴施設」として、こごめの湯を置くという条文があるため、今後、条例改正と債務負担行為変更という考え方を含めて、さらに進めて行くとの方針です。

2 万葉公園第3駐車場の割引サービスについて

こごめの湯利用者も使う「万葉公園第3駐車場」の利用料金の1時間無料のサービス券について検討して行くと説明がありました。

<その他の案件>

●閉会中の継続調査（所管事務等）申出について

<主な報告事項>

●美化センター基幹改良工事中の焼却炉停止の対応について

基幹改良工事中の焼却炉運転停止について、令和7年1月から12月まで、現在2基で行っている運転を片方ずつ停止させ、工事を行う報告がありました。

なお、同年6月、7月には焼却炉を2基とも停止するため、本町のごみは収集車両の全車が熱海市への運搬されること、同年10月からは箱根町からの新規のごみの受入れを予定していることも説明されました。

<その他の所管事務調査（報告事項）>

●令和6年度夏季行事実施計画について

●令和5年度湯河原梅林「梅の宴」実施報告について

●令和5年度指定管理者によるこごめの湯・万葉公園の利用状況について

●一般廃棄物（ごみ）処理基本計画について

●令和5年度ごみ等の回収状況について

●令和5年度指定管理者による公園施設の利用状況について

●水道施設の耐震化について

公の施設等整備調査特別委員会

(6月11日開催)

<報告事項>

●令和6年度湯河原町庁舎のあり方について

役場庁舎の老朽化の進行などを背景に、これまで、庁舎の再整備に向けて必要な情報を収集、庁舎整備の必要性を整理し、近隣自治体の新庁舎整備状況について調査を行い、その上での令和6年度の事業内容、スケジュール(案)などについて説明を受けました。

- ・計画準備・資料収集整理：4～9月
- ・町民アンケート：4～6月(調査票検討)
7～10月(実施)
- ・アンケート報告：12月
- ・意見交換会：令和7年1～2月

<主な質問>

- ・「庁舎のあり方」の定義について
- ・アンケートの対象や内容について
- ・庁内会議について



広域行政特別委員会

(6月13日開催)

<案件>

●令和6年度第1回湯河原町・真鶴町広域行政推進協議会提出案件について

協議会委員の変更についての報告、令和5年度会務報告・推進事業の経過・協議会決算(案)、共同処理事業等の負担割合及び負担実績について質疑応答しました。

<主な質問>

- ・水道事業の広域化の状況について
- ・収入支出決算書の事業費・予備費の内容について

<報告事項>

●湯河原美化センター基幹的改良工事中の焼却炉停止への対応について

湯河原美化センター基幹的改良工事中の可燃ごみを熱海市焼却施設へ直接搬入することについて、それに伴う委託業者への費用などの報告を受けました。

●一般廃棄物(ごみ)処理基本計画について

計画の趣旨、計画期間、ごみ排出量の実績、計画の基本方針・目的値、目標達成のための具体的方策、スケジュールなどについて報告を受けました。

(7月3日開催)

<案件>

●令和6年度第1回熱海・箱根・湯河原広域行政推進協議会提出案件について

令和5年度会務報告及び推進事業の経過・協議会決算(案)、役員の改選、令和6年度事業計画(案)・協議会予算(案)について質疑応答しました。

●令和6年度第1回熱海・湯河原広域行政推進協議会提出案件について

令和5年度会務報告及び推進事業の経過・協議会決算(案)、役員の改選、令和6年度事業計画(案)・協議会予算(案)について質疑応答しました。

7月臨時会

令和6年第4回湯河原町議会7月臨時会は、7月17日に開催されました。
この定例会では、町側から、補正予算の議案1件を審議しました。

審議議案と結果

町議会HP
会議録



全会一致の議案

議案番号	議案名	結果	議決日
46	令和6年度湯河原町一般会計補正予算（第4号）	可決	7/17

議決補正予算

一般会計（第4号）

5,684万円の増額

歳入

- ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増額
- ・地域観光新発見事業補助金の増額

歳出

- ・定額減税補足給付金（調整給付）の増額
- ・町内観光スポット巡回モデル創出事業の増額 など

代表質問

「町長の町政に関する所信表明演説」に対し、各会派を代表して質問をしました。
質問時間は、答弁を含み一人40分以内で、再質問はできません。
※紙面の都合により、要約した原稿を質問した各議員が作成し、掲載しています。

協創会

善本真人議員

Q「高齢者が元気に暮らせるまちへ」の施策では、「住民が住民を支える高齢者福祉の推進」を掲げられております。これまでも、健康づくりに関する取り組みを支援する介護予防サポーターやフレイルサポーターなどの扶助により高齢者の生きがいや健康づくりを実施してこられましたが、今後の展開についてお考えをお聞かせください。

A 3か年ごとに策定する「介護保険事業計画」に基づき、計画的な実施に努めているところでございます。

今後も、より多くの高齢者にご参加いただけるよう、継続的な事業の実施に努めるとともに、新たな取り組みとして、認知症や口腔機能の向上が期待できるカラオケ機材を活用した健康事業の実施や、フレイル予防のさらなる普及に向けた町独自のオリジナルソングの作成など、介護予防の取り組みが、より身近なものとして認識していただけるよう魅力ある事業の充実に努めてまいります。

今後も、高齢者ニーズの多様化が予測される中において、それを支える介護人材の不足が懸念されております。高齢者を含む地域住民やボランティアの力を活用した、より柔軟な生活支援サービスが提供できる仕組み作りが重要です。

住民主体の高齢者ケアの仕組みにつきましては「JICA草の根技術協力事業」を通じて学んだタイ王国ブンイトー市の取り組みがモデルになると考えております。

高齢者ケアの認識が深められるよう、高齢者が有償ボランティアなどとして活躍できる仕組みをつくり、推進してまいります。

《その他の質問》

- ・「かせげる農業をめざす」の施策について
- ・「コミュニティの助け合いを推進」の「共助力強化」「地域力強化」の具体的な考えについて

Q「公共交通の充実」の施策について

公共交通空白地域に関しては、「ゆたぼん号」の活用が有効であると考えますが、令和5年度の全体稼働率は32.7%と低迷しています。オレンジラインエリアは81.2%と高いことから、エリアの見直しを図るなど対策を講じる必要があると考えますが、考えをお聞かせください。また「ゆたぼん号」だけでは網羅できない様々なニーズに対応するための新たな交通手段の確保や公共交通の利用支援について、考えをお聞かせください。

A エリアごとの稼働率は、温泉場、福浦、鍛冶屋が伸び悩んでいる状況です。今後は、運行エリアや運行方法の見直しを検討したいと考えており、それには「ゆたぼん号」の運行を担うタクシー不足を解消する必要があるため、ライドシェアの導入を進め、「ゆたぼん号」の運行拡大などに対応できる体制の確立に努めます。新たな交通手段の確保については、神奈川県が県西地域で自動運転の実証実験に向けた調査を開始する動きがあるこ

とから、町として当該調査に手を挙げていくほか、地域住民主体のデマンド型交通やAIを活用した運行など、新たな公共交通の仕組みについて研究を進め、湯河原町にとってより良い形の地域公共交通の確保を目指します。

Q「中学校給食の早期実現」の施策について

「令和7年9月給食開始予定」について、開始遅延に関わる懸念事項がありましたらお聞かせください。また「小学校給食の段階的な無償化」に関連して、中学校給食の無償化の実現について、考えをお聞かせください。

A 現時点では、予定しているスケジュールでの実施を目指しています。中学校給食の無償化の実現については、中学校給食実施後に生じた経費や、子育て支援の推進状況を踏まえた上での検討事項と考えています。

＜その他の質問＞

- ・「小学校給食の段階的な無償化」の施策について
- ・「役場庁舎建替の道筋をたてる」の施策について

Q「温泉場千歳川沿いの遊歩道」の新たな活用における、近隣住民の合意形成と出店形態についてお聞かせください。

A 温泉場エリアでは平成30年度から温泉場としての風情を感じ、街歩きの楽しさを味わうことができるまちづくりに取り組んできました。当該遊歩道の生活環境は維持する必要があるため、どのような取り組みが可能であるかを含め、近隣住民や商店等の皆様としっかりと意見交換や協議を行うとともに、現在、温泉場エリアで開催している「温泉場 湯探歩^{ゆたんぽ}」や万葉公園・湯河原惣湯の玄関テラスで開催している「日曜観光朝市」などのイベントとの連携の可能性についても検討してまいります。

Q「小児医療費助成を18歳までに拡充」の施策において、拡充した場合の見込み額をお示しく下さい。また、充当財源についてはどのように考え、併せて実施開始の時期についての考えがあればお示しく下さい。

A 令和5年度の中学生の医療費助成額の実績を基に試算いたしますと、高校生年代に掛る医療費助成額は、年間約1千万円を見込んでおります。財源につきましては町の一般財源となりますが、将来的には「宿泊税」を導入することにより、現行の観光財源の一部を充当したいと考えております。また、実施開始時期につきましては、できる限り早期に実施をしたいと考えております。なお、自治体間の競争とならないよう全国統一的な子どもの医療費助成制度の創設が望ましいと考えておりますので、神奈川県町村会を通じ、引き続き国へ要望してまいります。

＜その他の質問＞

- ・「宿泊税」導入における、現在の入湯税との違いと導入時期、課税額について。また、宿泊・観光事業者を中心とした合意形成、及び導入に向けたスキームについて。
- ・常勤の特別職の給与に関する考え方について。

「ゆがわらのいいね!」

6月29日(土)に開催された湯河原町消防操法大会で優勝した湯河原町消防団第2分団が、その後7月27日(土)に開催された第55回神奈川県消防操法大会に出場し、見事最優秀賞(第1位)を果たしました。

第2分団の皆さんは、10月12日(土)に宮城県で開催する第30回全国消防操法大会に神奈川県の代表として出場します。湯河原町の分団が全国大会に出場するのは、14年ぶりです。



※操法は、消火活動の基礎を身につけるための訓練で、操法大会は、その技術力の高さを競い、消防団全体の技術の向上を図ることを目的としています。

辞職議員・新人議員について

令和6年6月23日執行の湯河原町長選挙に、土屋由希子議員が立候補したため、公職選挙法第90条の規定により、令和6年6月18日付けで町議会議員の職は自動失職となりました。

このことに伴い、議員1名の欠員が生じたため、令和6年7月1日、公職選挙法第112条第5項の規定に基づき選挙会が開かれ、次の方が繰上補充による当選人と決定しました。

議席
4番

う え だ な お ひ こ
上 田 尚 彦



- 住 所 吉浜
- 当選回数 1回
- 年 齢 61歳
- 所 属 党 無所属
- 職 業 土地家屋調査士
- 所属委員会
環境・観光産業常任委員会
議会だより編集委員会

傍聴のご案内

本会議及び常任・特別委員会は、傍聴ができます。本会議は先着20名、委員会は先着6名です。

【受付】開催日の午前9時から

【場所】第1庁舎2階 議会事務局

9月議会日程

- 9月9日(月) 午前 本会議(一般質問)
- 10日(火) 午前 本会議(条例・補正・決算)
- 13日(金) 午前 環境・観光産業常任委員会
- 18日(火) 午前 総務文教・福祉常任委員会
- 20日(金) 午前 本会議(決算質疑)
- 26日(木) 午前 決算審査特別委員会(一般会計)
- 27日(金) 午前 決算審査特別委員会(特別・企業)
- 10月1日(火) 午前 本会議(委員長報告)

※開催時刻は10時の予定です。

※8月21日時点の予定のため、変更の可能性あります。最新の議会日程については、町議会ホームページでご確認ください。



議会日程

編集後記

5月に富田前町長が急逝され、6月執行の町長選挙において内藤町長が当選されました。議会においても1名の欠員が生じ、新たに上田議員が補充当選されました。通常選挙後、間もなくの改編となりましたが、引き続きしっかりと町民の皆様の負託に応える議会となるよう努めてまいります。

町内ではやっさまつりや各地区のお祭り、湯河原温泉Nightsなどのイベントが盛大に開催され、コロナにより失われていた人と人の繋がりが徐々に戻っていると実感しました。

また、神奈川県消防操法大会において宮上第2分団が見事最優秀賞を受賞され、10月開催の全国大会に出場されます。誠におめでとうございます。

(室伏寿美夫 記)

議会だより編集委員会

- | | | | |
|------|-------|-------|--|
| 委員長 | 石井 温 | | |
| 副委員長 | 室伏寿美夫 | | |
| 委員 | 笠原 進 | 上田 尚彦 | |
| | 熊谷 照男 | 善本 真人 | |